

広報 なかがま 9月号



お年寄りに生きがいを

9/15は「敬老の日」
9/15から「老人福祉週間」

「働くことが生きがい」米寿の笑顔で励む山下吉亀さん（沖浦）

読者登壇

2人にちは

私のうちは、祖父母と両親と弟がいて、六人家族です。ばあちゃんは病気でねこんでいます。うちのじいちゃん、私が五歳くらいのときまでうどんを作っていました。手打ちうどんです。今、物置きになった所が、うどんを作る場所です。物置きには、古い機かいが一つあります。もうさびていますが、じいちゃんにとったら思い出のしなです。じいちゃんは、あせをながしていつもうどんを作っていました。私はいつも作る様子を見ていました。作る方法は忘れてしまったけれど、平らで長いものを三つおりにして、切っていたことはおぼえています。みんな同じように、ほそ長

じいちゃん ばあちゃんを大せつに！



吉野 智美 (11歳) 長浜・小学生

きれいに切っていました。それを玉にして木の箱にならべていました。それから、だしを作ってお客をまつていました。ときどき私たちに作ってくれたのをおぼえています。私たちに作ってくれたうどんは、とてもおいしかったです。客に売るうどんをやめてからもじいちゃん、は年こしそばやうどんを作りました。とてもおいしいです。私はもう一度、じいちゃんに作ってもらってみんなに食べてもらいたいと思います。うちのおとうさんはすし屋をしています。

でも出前をもって行く人がないので困ってしました。それでじいちゃん、うどんをやめて出前をしています。晴れの日に出勤するのはらくだけど、雨の日に出勤するのは大へんです。かっぱをきて長ぐつをはいて、出前の箱をもって行くのです。それも自転車に乗ってかた手運転です。元気な人だつて大へんだと思います。「ただいま」と言つて雨にぬれて帰ってくると、かわいそうな気がします。そんな時は、「出前はとても大へんだな」と思います。ばあちゃんはねこんでいるのでじいちゃんが出前のあいまをぬつて、ばあちゃんにごはんやほかのせわもしています。私はじいちゃんによくしてあげたことがあります。今までおうちやぐばかり言っていたのです。でもこれからは、じいちゃん、ばあちゃんを大せつにしたいので、長生きをしてほしいと思います。

議会

長浜町議会第二回定例会が七月二十一日に長浜町体育館で開かれ、補正予算や条例制定案など上程された十六議案が原案通り可決されました。可決されたことのうち、おもなものの内容は次の通り。また、今議会では一般質問が行われ三人の議員が合わせて六件の質問を行いました。その概要は六ページの通り。

災害弔慰金を支給
災害援護資金を貸付

「災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例」を定め、ことし七月一日から適用することが承認されました。

これは、昭和四十八年に定められた関係法律に基づき市町村が条例化したもので、自然災害により

死亡者が発生した場合、その遺族に災害弔慰金を支給、あるいは、被害世帯に対しては災害援護資金の貸付を行うというものです。この制度のおもな内容は次の通り。

▽支給および貸付の対象となる災害は、暴風雨・豪雨・豪雪・洪水・地震・その他異常な自然現象に

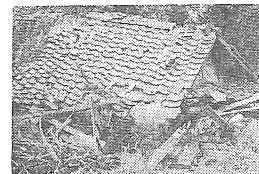
より被害を受けた場合で、一つの市町村の区域内で五世帯以上の被害が出る災害で死亡者が出た場合に限られます。

災害弔慰金

▽弔慰金が支給される遺族は①配偶者②子③父母④孫⑤祖父母⑥の範囲で、この順位により支給。▽弔慰金の額は、遺族となる人の生計を主として維持していた人が死亡した場合は百万円、その他の場合は五十万円。▽この費用は県が四分の三、町が四分の一を負担。

災害援護資金の貸付

▽貸付限度額は次の通り。
①…世帯主の一月以上の負債…三十万円
②…家財の三分の一以上の損害



住居の全壊は70万円

- ③…住居の半壊 ……三十万円
- ④…住居の全壊 ……四十万円
- ⑤…①と②が重復した場合 ……七十万円
- ⑥…①と③が重復した場合 ……六十万円
- ⑦…①と④が重復した場合 ……七十万円
- ⑧…住居の全体が損壊し、もしくは流失し、または、これと同等と認められる特別の事情がある場合…百万円

△償還期間は十年。据置期間は三十年(厚生大臣が被害の程度その他の事情を勘案して定める場合は五年)。償還方法は年賦または半年賦。

▽この資金は県が全額無利子で市町村に貸付けるものです。

14路線を町道に認定

次の十四路線を新しく町道に認定することが承認されました。(カッコ内は新路線名)

- 田の淵農道(田淵三号線)二三
- 二、叶松農道(叶松・大越線)
- 一、一八、大越中央農道(大越中央線)一、四六、平尻農道(平尻線)一七五、橋立農道(橋立上線)二一〇、柳屋林道(曲淵線)八二五、桜支線農道(桜二号線)八〇〇、大越農道(大越線)三八〇、山神坊農道(山神坊線)七六八、峰大越農道(峰大越二号線)八九六、桜農道支線(桜三号線)二二〇、(田淵二号線)舗装新設

おしらせ

分) 一四六分、(出海小学校線
||新設改良分) 六二分、(出海
小学校支線||新設改良分) 一七
五〇分。

災害復旧費など

補正

一般会計に今回二億三千八百八
十六万五千円を補正、当会計総額
は二十億五千九百五十八万二千円
となりました。

また、水道事業、工業用水道事
業、簡易水道事業の各特別会計に
も補正が行われました。

こんどの補正は、景気浮揚対策
の一つとして公共事業など投資的
建設事業に積極的な取り組みが必
要であるとする国の施策の流れ
から例年より早く各事業の内示決
定が行われ、当町もこれに呼応し
て補正を行うことになったもの。
各会計補正予算のおもな使用み
ちは次の通り。

総務費 青島丸建造特別委員会
の活動費九十五万円。

民生費 櫛生の高峰地区道路・
上老松の上成地区道路。須沢浜下
水排水路。出海浜下水排水路の一
の事業費。白滝保育所建設事業費。

衛生費 櫛生地区簡易水道敷設
に伴う簡易水道事業特別会計への
繰出金七百十八万六千円。

農林水産業費 柴の柿早地区小
集団地育成対策事業補助金二十
二万七千円。常緑果樹振興(品種
更新)補助金二百二十一万八千
円。団体営農道負担金などに五百
二十万七千円。農道新設改良に伴
う生コンクリートその他原材料費
百五十万。第二次農業構造改善

事業の計画一部変更に伴う減額五
百七十八万円。田ノ淵水路(白滝)
ほか四か所土地改良事業費。須沢
地区治山治水事業費。沖浦船溜し
ゆんせつ工事費。投石魚礁補助金
八十二万円。櫛生漁港局部改良事
業費。

商工費 街路灯新設改良費。商
店街アーケード事業費補助金百万
円、海の祭典行事費その他施設整
備費八十万円。

土木費 港町(長浜)舗装補修
ほか八か所の工事費。道路橋梁維
持のための生コンクリートその他
原材料費百五十万円。出海尾坂
線、大平線ほかの町道新設改良
費。水場川堆積土砂取除き工事
費。港湾費の県営工事費負担金。

教育費 長浜小学校用地取得
費。白滝小学校屋内運動場新築事
業費(付帯工事費・体育用備品費
ほか)。白滝小学校屋外便所工事
費。長浜中学校校舎補修(トイレ
補修)工事費。

災害復旧費 町道・大平線ほか
十三か所の公共土木災害復旧費。
日ノ浦農道ほか二線の農業用施設
災害復旧費。石山農地(出海)災
害復旧費。以上いずれも六月二十
二日~二十三日間の極雨前線豪雨
によるもの。



町道日ノ浦・松ノ久保線復旧費も補
正されました

水道事業特別会計 上水道倉庫
建築費六十五万円。工事用エンジ
ンポン購入費十三万六千円。
工業用水道事業特別会計 配水
管水撃防止工事費。

簡易水道事業特別会計 櫛生簡
易水道建設費(五十二年三月完成
目標)。未給水地域の水源調査費

過疎地域五か年計画
に12事業を追加

過疎地域振興五か年(昭和五十
年度~五十四年度)計画に次の十
二件の新規事業を加えることが承
認されました。

〔交通通信体系の整備関係〕東
地区生活道路新設事業(延長二七
〇m・幅員三・五m)、高峰地区
道路新設事業(延長四四〇m・幅
員四m)、上成地区道路新設事業
(延長三一〇m・幅員三m)、大
平線舗装事業(延長二、八〇〇m・
幅員四m)、白滝柴線舗装事業
(延長七一〇m・幅員三・八m)
青島丸建造事業(五〇t級客船一
隻)

〔教育文化施設の整備関係〕柴
の道上集会所新設事業(鉄骨プロ
ック平家建・九九平方m)、豊茂
の駄場集会所新設事業(鉄骨プロ
ック平家建・六六平方m)

〔生活環境施設等厚生施設の整
備および医療の確保関係〕公営住
宅新築事業(中高層鉄筋コンクリ
ート四階建(一〇六戸)、住宅新
築資金貸付事業(住宅資金貸付十
件)、須沢浜下水排水路新設事業
(下水排水路施工・六四m)、出
海浜下水排水路新設事業(下水排
水路施工・一二九m)

辺地総合整備計画に
も青島丸建造事業は
老朽化に伴う青島丸建造事業は

Smokin' Clean

スモーク・クリーン 街を自然を美しく

タバコの投げ捨てや、タバコの不始
末によって、道路が、町が、行楽地が
そして自然が汚され、火災の原因にも
なっております。
美しい町を、日本を私たちみんなの
手で守っていきましょう。

たばこの空箱を集めて
手芸品を作りましょう

募集期間 昭和51.8.1~昭和51.11.10
展示会 昭和51.11.21~23 (3日間)

スーパーフジ八幡浜店・大洲店
作品受付 日本専売公社八幡浜営業所

※日本専売公社※

過疎地域五か年計画のほか、辺地
総合整備計画の新規事業にも組み
入れることが承認されました。

後任の教育委員に
有友忠憲氏



有友教育委員

出海の河井八
十一氏がこの六
月十日付で長浜
町教育委員を辞
任されたのに伴
う後任の同委員に町長は櫛生の有
友忠憲氏(五八)を選任、議会の

2工事の請負契約の締結を
承認

喜多灘漁港海岸保全工事を千百
三十万円、また、林構林道出石線新
設工事を千七百四十八万円、豊茂
の佐々木組と、それぞれ請負契約
を結ぶことが承認されました。

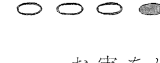
××
行楽に安全ピン
××

服がほころびたとき、安全ピ
ンがあると、人目があっ
て脱いで繕えないときで
も、その場で応急措置が
とれるので助かります。

××
衣類についたアメ
××

布ぎれにダイコンおろしを包
みアメのついたところに当てて
もむと、ダイコンのジアスター
ゼがアメのデン質をとかすの
で簡単にとれます。

豆ちしき



鏡にヘアスプレー

ヘアスプレーの揮発性の液の
中にはシリコン系の成分が含ま
れているので、鏡に吹きつけて
布でふくと簡単にきれいになり
ます。

××
お客用の灰ざら
××

テーブルの飾りになっている
高価な灰ざらは、お客には使い
にくいもの。わざと吸殻
を入れておくか、そばに
実用的な灰ざらを置いて
おくのが客への親切。

私の老後

「老人福祉」ということばのもとに特に高度経済成長期を通しての行政的福祉施策はかなりの充実をみたと思われまふ。しかし、それも真の老人福祉の目標からしますと福祉の窮極である一人一人の精神的福祉の充実にまでは至らず、今後の老人福祉は「心の幸福」すなわち「生きがい」を課題としています。先日、町の広報課において、ある一部の地域の数人のお年寄りに「生きがい」について話を伺ってみたところ「仕事」、すなわち家庭や社会における役割に生きがいを感じている人が多く見られました。一方、病氣は最大の不安事であり、話を伺ったお年寄りの中にも病氣であるがため生きがいを害されている人も多く見られました。しかし、物的な面に対する悩みはほとんど聞かれず、さすがに「明治の人」を感じさせるものがあつたのも特徴のようです。

さて、あなたの生きがいは？ ここに「私の老後」と題して、町内各地域の明治生まれの代表七人の皆さんの生きがいのほどを紹介しあなたの生きがいと照らし合わせてみていただくことにしました。

山本 兼松（仁久）
76歳

元気で明るく働く

山本 兼松（仁久）
76歳



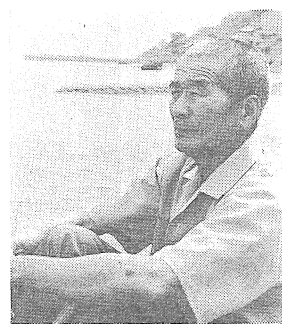
しも野菜がよく育ちました

し。食後や疲れたときは昼寝もします。夜はのんびり新聞を読んで夢の国へ。また、運動がてらミカン作り（約八十本）、花作り、野菜作りなどにもいそしんでおり、自分のつくったこの果物や野菜を親せきや子どもに送ったり持って行ったりすること私の楽しみの一つです。二男が今、家を新築中のため毎夕見に行き、完成したら裏へ物置きを作ってやる考えです。また、夕食はいつも三男の家ですることにしており、食後は孫とキャッチボールなどして楽しみます。

とにかく、人に迷惑をかけず、元気でよいおじいさんでありたいものと念じつつ余生を送っている私です。

仕事に精根

山根 浦治郎（今坊）
77歳



私は海が何よりも大好きです

私は若いときから六十歳になつたら仕事もやめ気楽な余生を送ろうと自分なりに老後の設計を立てていたつもりでした。しかし時代の移り変わり、そして想像もしなかつた長男に三十七歳にして先立たれることなどがあつて、今も大黒柱的存在にあり私は年寄りではないんだと言ひ聞かせながら、「この暑いのに、はからいしなはいや」の家族のことばも押し切つて畑や（午後は昼寝、テレビ）ウニ採りにと仕事に精根を傾けています。そんなと

進んでみんなの中へ

沖野 要（櫛生）
86歳



一仕事と終えて編物。ホッとす

子どもさんとも話せることの楽しさを味わいます。心を明るく持つことが第一、健康のもとです。子どもさんにはきられてもラジオ体操にも毎日行きます。一日を一分をむだに過したくないのでミカン畑の草引き、家にいるときもテレビを見ながらの編み物などしています。時々、子どもからの電話を楽しみに暮しています。

少しでも社会のためにやりたい、健康で余生を送りたいと一人暮らしの寂しさを世間の人々の温かい情の中に忘れ、楽しい老後を過したいと念ずるばかりです。

最後に、今のお若い方々に望みます。敬老は一日ならぬ年中行事。朝夕一言でよいから愛のことばをかけて老人の心を明るくしてください。

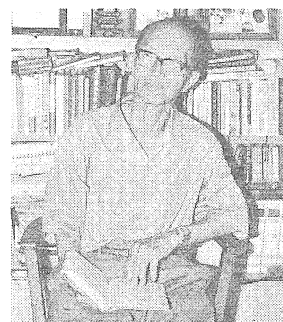
きや若い人達の集いに招かれて話に夢中になっているときが最良の幸せでもあり、若い気分になれる秘けつでもあるようです。幸い、どうにか食べるだけの経済には恵まれていますので、今後は孫達がどのように成長してくれるかそれが何よりの楽しみ。悩みといえば、小船がありながら家族が心配し出漁させてくれないこと、また、十数年前から胃を患っていること。毎年、誕生日を祝ってくれる子ども、嫁、孫達の思いやりの心にも感謝し、健康に注意して、七十七年の私の苦楽をだれよりも知っている波の音を耳にしなが、まだまだ長生きをして何か小さいことの一つでも世の中のために役立ちたい気持ちでいっぱいです。

特集・私の老後

人生総仕上げのとき

河村 純一 (72歳)

私は健康第一主義者で、自分に適当な労働をし、自然食や信仰生活にも気を配っています。



部 好んで、読書が大好きです。より本でいっばい何屋は

健康というのは心と身体が相協調して健全に働いてゆく状態をいい、バランスが崩れると健康を失うので、私は心づくりを「読書」に、身体づくりを「労働」にゆだねています。心と体を一つにして働いていると苦しみも悩みも消えて、自然に健康が与えられるようです。ですから精神的な自分、肉体的な

自分をよく認識し、最善の生活を心がけてゆくことにしています。

今のところ、これといった悩みや苦しみはなく、毎日元気で農生活にいきしんでおり、一日一日にそれなりの生きがいを感じつつ過しています。

これからの私の人生は子あり孫あり仕事ありで、幸福であるがための条件は十分満たされていることに感謝しており、いよいよ私の人生の総仕上げのときであるとも思っています。そして、私たちの周囲に「明るく勇気と希望に満ちた環境」をつくりあげる努力を惜しむことなく、そのためにも心身の健康管理にはより一層の心がけをしてゆきたいと思っています。

白菊会へ献体

滝本 サト (73歳)

「私の老後」：私もこんなことを考える年になったかと、ちょっと……



家事仕事をするときが一番楽しい

日、落成半ばの医学部学校で大勢の先生方と話をし帰る、私たちなんだか偉くなったような気がしました。細かいことは考えず、おもしろく遊んで暮らすことだけを考えています。旅行には必ず参加します。そして、心身共に若々しく健康でありたい。また、交通事故には特に気をつけて損傷のない体を献じたく思っています。家庭の仕事が一番好き。和服、洋服すべて自分で立てます。私の仕事といたってこれくらいです。孫の守りは数年前にお役ご免になり、今は孫たちがお小遣いをくれます。それも老いたもの楽しみです。

グループで楽しく

別宮 チサ子 (72歳)

第一に健康でなくては幸せはつかめません。



毎日店に出て働いています

朝は早く起き、できるだけ自分のことは自分でするようにしています。が、体を無理しないようにも心がけています。神様にお参りして一日の災難をよけさせていただくことにしているほか、友達と一諸に神様のお庭そうじなどにも出かけます。あまり年が開かない者でグループをつくり、何を言っても腹を立てず、わからないことは教え合い、知っていることを披露し

て話し合い、語り合い、へたな歌も歌ったりして一日を楽しくおもしろく過せるようがんばっています。

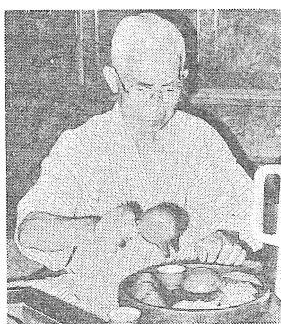
悩みといえば、病気になって若い者に心配かけたり世話をやかせてはいけないという不安で、このためにも神仏に祈ります。

あとわずかな人生ですから家族一同仲よく暮し、一つのものでも分け合って腹に秘密を持たないこと。人に誘われたときには元気である限り快よく一緒にすることにしていきます。

好かれるおばあちゃんになりたい、そのためには一番に健康な心と体をつくること。大切ではないかと思っています。今、私は幸せです。

人間関係を大切に

林田 辰喜 (69歳)



おいしいお茶をこしらえます。お出なをりませんか

れます。働くことにより対人関係が豊になり、人間性がより一層増されます。世間話、政治問題、その他……

私は人間関係を大切に幅広くしてゆきたい。老人くさくない老人になりたいと願っています。年老いてゆくどうしようもない生き物だけに自分自身の努力により、くいとめるしかない。戦争を味わってきた私は、死にものぐるいによる努力と言ふものを知っています。それゆえに年老いてゆく自分をくいとめる努力など簡単なものであると私自身は思っています。今後理解ある人間として、暮らしてゆきたいもの……

ところで、愛媛大学医学部の「白菊会」をご存知ですか？、私は最近、その会員になりました。そして奉仕の心を養い、死した後、世の中にお礼の意味で自分の遺体を提供することになっています。私の体は医学を志す人々の実習研究の材料なのです。大学へ行ったとき、度胸がよいとほめられたのか笑われたのかわかりませんが、先

私はもうすぐ七十歳の俗に言う老人。しかし、私は老人といふことばに抵抗を感じず。余り好きなことばでないからです。でも世間では私を老人と言うでしょう。少々悲しいことです。こんなに元気に毎日暮らせる秘訣は一番簡単であるが、規則正しい生活を送ること、体を動かすこと。私は体を動かす一つの手段として毎日列車に四十分程揺られ通勤しています。冬は寒く夏は暑い。当然のことながら七十歳の体にはこたえます。しかしそれが健康への糸口でもあると思わ

町議会一般質問 • 明るい選挙

□ 一般質問 □

長浜町議会第二回定例会では、頼永一夫、新盛己、塚木弘基の各議員が質問を行いました。

英知 結集し運動公園建設を

頼永議員：最近、ちまたで、晴海の昭和電工の空地を町内野球愛好者の野球場として使用できるらしいとのうわさが再燃してきているが、理事者はどういう考えをもっているか。

また、青少年の健全育成、鍛練の場、中高年齢層の健康管理の場として長浜高校グラウンドを鋭意に開放、合わせて同校のナイター照明設備を増強し、町民が気軽に利用できるようにしてはどうか。

町民が自由に利用できる町民の運動公園の建設を要望したい。財源不足から一会計年度ではむりなので年次計画を立てて実行し、町民みんなの英知を結集しながら一日も早く実現させてゆくべきではないか。

町長：昭和電工の工場建設予定地については、町の発展施策の一連の重要な事業として、漁業者をはじめとする関係者の深い協力と町民のかねてからの願望により臨海工業用地として造成した土地である。従って、この土地は工業開発の目的のために使用されることが明確になっている。ただ単に工場が未立地で使用されていないということだけで安易に他の目的に使用することは、諸情勢を判断した場合適当でなく、現在のところ野球場として使用することは考えていない。

長浜高校の夜間照明施設については、すでに体協からの申し出もあるが、具体的にいつ、どのよう

に付けられるかは学校当局、県教委など関係機関との合議も必要で、既設の施設との関連も出てくる。これらを十分に検討して、早い機会に完成できるように努力したい。

運動公園の建設については、従来、臨海工業開発と合わせて構想の中に盛り込んできたわけである。このことは当然、考えていかなければならない重要な課題なので、具体化するための今後の問題について、さらに検討を加えていきたいと考えている。

保育料最高額は過重負担

頼永議員：保育料は現在、階層が数多くあり、その中にまた年齢別区分もあって、全部で二十六区分されているようだが、下限の分はよいとしても、上限の分では一人当り三万八千円も出していることは家計の負担が非常に過重になるのではないかと。この上限の分を仮りに二万五千円にしたとすれば一般財源を充当することになると思うが、町負担が無理なら国の措置費の増額を要望してみてもどうか。

町長：町の保育料は一応、国の政令で定められており、これに基づいて徴収金額の基準が設けられている。ご指摘のように非常に差があるようだ。この問題については十分に検討を重ね、改定についても全国的な問題なので適正な限界を全国的な共通の課題として取り上げ要望していきたい。

補助金は公平に

新議員：町の補助金の出し方、決め方に疑問を持つ。ある組織や団体に強い力が働くとそこには金が出て、発言権の薄い組織は見通

④ 明るい選挙運動のはじまり

明るい選挙運動は、昭和二十七年に始められた。

戦前の選挙運動は、ここに姿こそ似ておれ、この精神をまったく異にして発足したのである。われわれが主権者であるという意



私達で明るいキレイな国づくり

されがちになる。全体の予算の使いみちについてもそういった傾向が感じられるが、理事者、監査委員は相手の組織や運用がどのようになされ、補助金がどう使われているか追跡調査などを行って町民の要望に公平にこたえられるよう努めるべきではないか。

町長：ご指摘のように、補助金の運用については地域住民の要望を満たすために常に公平に執行し、しかも、平滑に活用することによって効果と上げてゆきたい。現在のような経済情勢の変化の中では、住民の要望は多種多様化してきておりこれらにこたえてゆくためには、いろいろな補助制度や町単独補助などを有効適切に活用することによって不公平を是正し、地域住民

識が、あいも変らぬ汚濁選挙の実態に抵抗し始めたといえよう。当時、平和条約成立後初の総選挙をひかえて悪質な事前運動が盛んに行われ、国民の間では、このまま放っておけない、選挙を何とかしなけれ



選挙

に対して強い批判が加えられた。この時に当たって一大国民運動を展開し、正しく明るい選挙をしようと呼びかけが前田多聞など有志によってなされ、言論、実業、経済婦人等各界の全面的な支持を受けて昭和二十七年六月四日、「公

観光行政の充実を

の要望にこたえていくということを取組んでいる。

塚木議員：長浜町の経済不振は商店街の購買力の低下に象徴されるのではないかと。観光面一つを取り上げてみても、沖浦観音大祭の衰退、魅力が薄れ客足が遠のく水族館などの問題がある。当町は山、川、海ありで非常に自然条件に恵まれている。この最良の条件を生かして、四季を通じ客の足を長浜に向ける観光行政も必要で、これによって購買力を喚起するとか長浜町の経済を潤すという一方法もあるのではないかと。

町長：経済不況は国際的な大きな問題で、今すぐには是正できる特

明選挙連盟」の結成となった。発足にあたって定められた連盟の運動基本要綱の趣旨、目標などは次の通りである。

一、この運動は心ある国民の間から盛り上がりつつあるものであって、お互いの実践を通じて政治の刷新改善を図るものであること。

二、この運動は心ある国民が一致共同して趣旨の徹底を期するものであるから、いたずらに他の罪を数え、他の攻撃に墮することがあってはならないこと。

三、この運動は広く同憂同志を求めて発展するものであるから、己から他へ、小から大へと、地域職場の浄化公正に努めること。

四、この運動は政府、政党とは何のかかわりもない純一無雑なものであるから、一党一派に偏したりの、あるいは個人や団体、地域、職域の利己的打算に利用してはならないこと。このような目的により、明るい選挙運動が始められた。(つづく) (「啓発運動のすすめ方」から抜粋)

効率的なものは見つからないのが現状である。しかし、当町ではすべての生産力の増強が真の救済措置と考え補助や負担を進めている。

商工業振興の要因はやはり消費人口の拡大で、しかも、定着した人口の増大が基本になってくる。このため、町としてはあくまでも基本構想に基づき開発に一層の努力を払い、英断をもって目的達成の実現を図る以外に最善の打開策はないと考えている。

観光行政については、ご指摘のようにいろいろな資源もあるが、人の流れをどう作り上げるかが基本になってくるので、広域的な青写真の中でこのことを中心に構想を練ってゆきたい。



秋立って夏をふりかえる。日本国中の海水浴場は人人、人でいっぱい。それでも足りず日曜などは海水浴場以外の浜辺で人の下りられる所は一か所の空き地もないのはわが沖浦から出海へかけての海岸を見ても分る ▲ 日本は狭い所へ1億1千300万人の人が住み年々150万人程度増えている上に半分近くが大学に入るようになり、本来利口で器用な上に教育の普及が世界一というのだから、例えて見れば知恵の固まりみたいなものである ▲ それだから狭い上に何一つ資源のない環境でも今日の物質的な豊かさの生活を築いたのであろうが、さてこれから後が多少気にかかる ▲ 多くの人々は食糧とエネルギー資源と公害や自然破壊を問題としているようだがそれもさることながら人間がこのように増え続け、現在のような思想や教育がそのまま延長されるならば、日本人は次第に群集化し、無秩序の群集人間のみ多く、秩序ある団体人間というものが減少して始末におえぬ社会にはしないかという恐れがある ▲ 道德教育とか強力な画一的団体訓練などは、とかく敬遠されているような風潮だが、真夏の海浜の雑とうを通して日本の将来に思いをはせると秋の涼しさとは別に肌にうすら寒いものを覚えるような気がするのである。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	8月1日現在	前月との比較
人 口	13,619人 (男 6,454人) 女 7,165人)	2人増 1人増 1人増
世帯数	3,913世帯	2世帯増



表彰***

類販売業者の飲酒運転による死亡事故はゼロということです。酒がもたらす影響をよく自覚しているからでしょう。

私たちの町から飲酒運転、無謀運転者をなくしましょう。これも「楽しく住みよい町づくり」のために欠かせないことです。

交通安全優良事業所で
伊予長浜郵便局

○出海の豊田忠重さん（六七）

オーバーヘッド・エピソード・プロジェクト（十万円相当）を出海
小学校へ



伊予長
浜ライ
オンズ
クラブ
：電気
冷蔵庫
四台を
老人ホ
ーム白

寄付

転管理に努め、交通安全の推進と交通事故の防止に多大な功勞があつた昭和五十年年度優良事業所として、この七月五日大洲市で開かれた大洲市・喜多郡安全協会連運管理者総会の席上、愛媛県警察本部長と愛媛県安全協会連運管理者連絡協議会会長から表彰されまし

た。

同郵便局長は昭和四十六年十二月二十日に交通事故永久絶滅宣言をしてから事故ゼロを達成している。

結婚



7月長浜町役場届出分(敬称略)



今月のトップは
松本利雄・チサ子さんのカップル。

浪
本
書
記
補

浪本書記補

長浜町役場税務課の浪本忠則書記補は県税の賦課徴収に積極的な功績があったことにより、七月二十日に愛媛県知事から感謝状を授けられました。

おくやみ

おくやみ		7月届出分 (敬称略)		住 所		氏 名		死亡時年齢	
沖浦	田中	賢市	長男	臣	長浜	西崎	富茂	長男	裕真
長浜	河村	喜明	長男	真澄	長浜	徳田	喜寿	長女	真美
白滝	藤本	英久	二男	真	長浜	藤浦	篤美	三男	隆洋
黒田	池浦	篤美	三男	隆洋	今坊	谷岡	秀男	長女	さおり
沖浦	野村	照男	長女	千春	出海	河野	保	二女	良子
出海	後藤	世紀	二男	慎太郎	白滝	池田	寿彦	二男	辰也
沖浦	等々力	武男	長男	潤也	豊茂	松本	春明	二女	典子
黒田	中野	健蔵	長女	朋子	黒田	中野	健蔵	二女	佳子
黒田	中野	健蔵	二女	佳子	仁久	宮岡	洋征	長男	征生
仁久	友田	逸朗	二男	真司	長浜	浅田	辨治郎	(八〇)	
戒川	川渕	ナツヨ	(七三)		長浜	名和	カホ	(七二)	
豊茂	松本	カズエ	(七三)		長茂	友石	恒	(六八)	
白滝	崎岡	喜一	(五一)		白滝	大田	ウメコ	(六五)	
長浜	西田	登志雄	(五六)		白滝	岡	イトノ	(八一)	
長浜	重松	治三郎	(七二)		長浜	山口	均	(三〇)	

編集後記

「敬老は一日ならぬ年中行事」
正にその通りであり、確かに取り立てて「敬老」「敬老」と騒ぐのも不自然な話ではあります。しかし、といつても、やはりその取り立てての敬老もやらないよりは、やった方がよい。つまり、年中敬老であるべきですが、年に一度くらいはこの問題を大きく深くみんなで考えてみることも十分に大切なことゝ、ということ、本紙で毎年九月号をそのときとして特集しています。若いあなたも、やがてくるそのときのためにご一読を、そして、よき敬老者に。:

さて、次号は町の条例に基づき昭和五十年年度の長浜町の財政の状況を公表します。大切なことであるのは皆さん理解されているものとして定評のある記事ですので、なるべく楽しくご覧いただけるよう工夫をしてみたいと思っていますが。: